

禅

2010

32号 (通巻212号)

目次

日々に新たなり

現代の若者意識と布教 …………… 上岡 白雲 2

提唱 数息観のすすめ抄講話

数息観を味わう 第一話 中期の数息観

…………… 丸川 春潭 6

特集 人間禅三世総裁 磨瓢庵白田劫石老師 追憶尋思

追憶尋思の詞 …………… 稲瀬 光常 19

三世総裁 磨瓢庵劫石老師 追悼号の

発行によせて …………… 丸川 春潭 26

嗚呼 磨瓢庵劫石老師 !! …………… 石田 妙耕 33

今日は死ぬ日 …………… 内田 慧純 36

修行十戒 …………… 白田 劫石 39

講話

俳句の道 …………… 立田 幽石 45

日本文化と禅

在りし日の句友たち(一)…………… 淵上 磊山 57

『茶事訣』に触れて…………… 片野 慈啓 63

西行、道元、良寛の短歌(三) 良寛の短歌

…………… 斎藤 是心 70

人間禅の書(五) 長屋哲翁の書 …… 藤井 紹滴 74

俳句と些子記抄 第9号より …… 齋藤 徳治 80

禅フロンティア日本文化研修道場

「禅フロンティア」参加のご案内 笠倉 玉溪 84

武道と禅

うそをついてはいけない 宏道会の剣道

..... 米田 不動 88

私と禅

坐禅を始めた頃のこと 熊本 文琇 92

図書紹介

『遠羅天釜』 大野 妙恵 101

禅会だより

南海禅会の新たな出発 島崎 大猷 104

連載 驢鞍橋講話

第十二話 二王は是如来の足輕坐禅也

..... 丸川 春潭、延時 真覚 107

提唱 槐安国語鈔講話(十二) 頌古

第九則 巖頭函字 白田 劫石 115

編集後記 123

表紙解説



清里山荘初秋景觀之図(掛軸)立田英山作(山梨県清里村、昭和24年初秋)/ 耕雲庵立田英山作品集『笑うに堪えたり悲しむに堪えたり』より。

立田英山老師(俳号:幽石)は、人間禅第一世総裁。老師には句集『句津籠』(正・続・続々)があります。老師は昭和20年から同24年にかけて大法護持のため清里に疎開されました。そのときに詠まれた句です。

炉に酌むや独りにしまく夜の音 (昭20)

凍る大地ゆるみて人に仕事あり (昭21)

駒鳥や富士まで大氣ふるはして (昭21)

洗場に水甕一つ秋涼し (昭21)

長男逝く

間に合はず秋草棺に入れてやりし (昭22)

寝返れば虫の音かくも身近なる (昭22)

風に押され花野の広さ独りゆく (昭22)

馬子唄の霧分け来る佐久平 (昭31)

山椿亡き子は今も紺 緋 (昭34)

この地に逝きし長男のことには触れず

残雪の八ヶ岳を背にして妻と酌む (昭37)